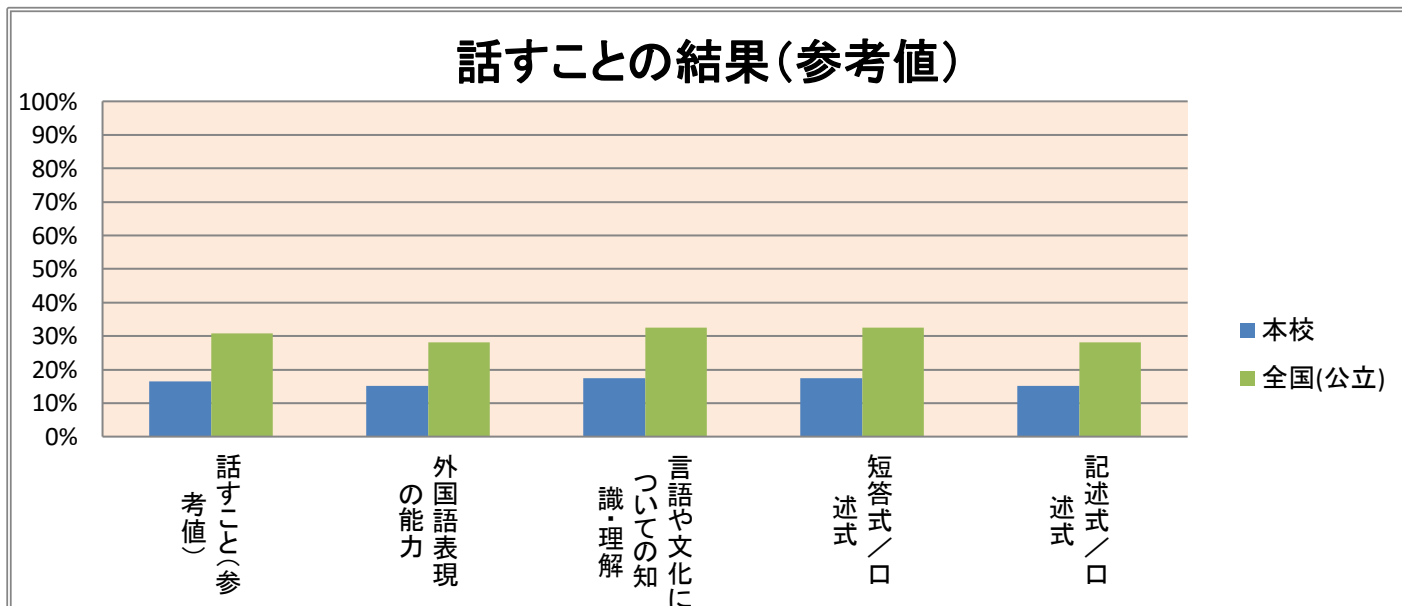
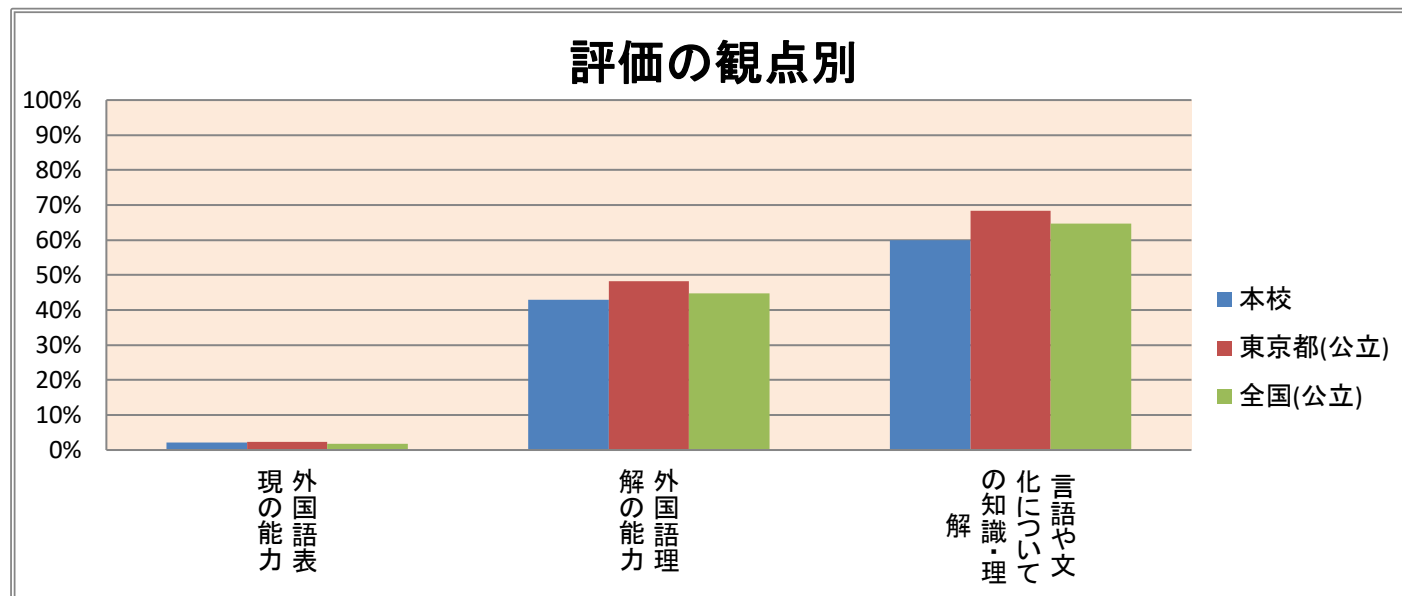
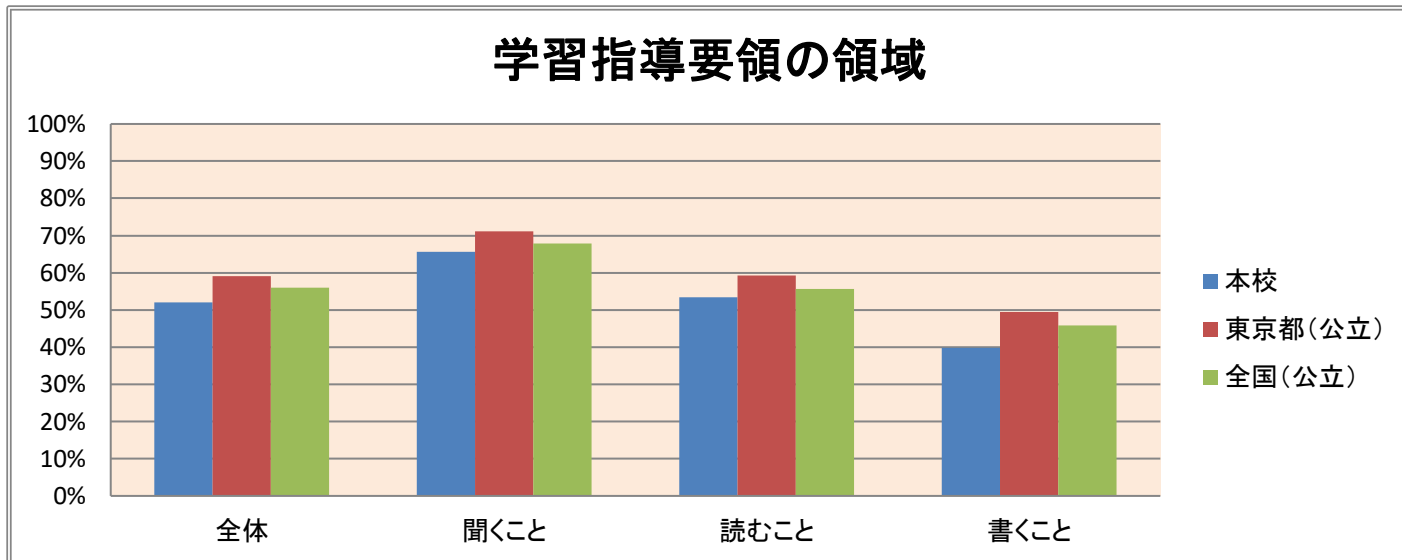


英語（令和元年度(H31年度) 全国学力・学習状況調査)

江戸川区立上一色中学校

1. 分類ごとの平均正答率



1. 学習指導要領の範囲における正答率の分析・考察

【全体】

- ・全国の平均正答率と比べると、「聞くこと・読むこと」が2.2%、「書くこと」が6%下回っている。東京都の平均正答率と比較すると、さらに下回っており、特に「書くこと」に関する力が弱い。

【聞くこと】

- ・教室英語や日常的な話題について情報を正確に聞き取る力については高く、全国平均を上回っている。
- ・話の概要を理解したり、聞いて把握した内容について適切に応じる力については弱い。

【読むこと】

- ・まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解したり、説明文の大切な部分を理解したりする力については高く、都平均、全国平均を上回っている。
- ・資料の内容を理解し、それについて自分の考えを表す力が不足している。

【書くこと】

- ・文の中で適切な接続詞を用いることについてはおおむねできている。

- ・与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある英文を書くことについては
全国平均を上回っている。

2. 評価の観点別から見た正答率の分析・考察

【外国語表現の能力】

- ・与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある文章を書く力についてはおおむね良好である。
- ・聞いて把握した内容や、与えられたテーマについて自分の考えを整理し、まとまりのある内容を話す力に

【外国語理解の能力】

- ・まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解したり、必要な情報を理解したりする力が弱い。
- ・まとまりのある英文を読んで、話のあらすじを理解したり、説明文の重要な部分を理解したりする力については
は都や全国の平均を上回っている問題もあり良好である。

【言語や文化についての知識・理解】

- ・情報を正確に聞き取ったりする力は高い。
- ・簡単な文で書かれたものの内容を読み取る力については、都や全国の平均を下回っている。
- ・3人称単数現在形の肯定文や、否定文などが正しく書けない生徒が多い。

3. 話すことの結果についての分析・考察

【話すこと(参考値)】

- ・全国の平均正答率と比較すると、「話すこと(参考値)」では14.3%下回っている。
- ・「話すこと」については、内容を踏まえて会話が続いていくように即興で質問をしたりすることなどができない
生徒が多い。

【外国語表現の能力】

- ・聞いて理解した内容について、会話が続いていくように即興で質問をしたりすることができていない。
- ・与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話す力が低い。

【言語や文化についての知識・理解】

- ・基本的な文法を理解し、それを用いて応答する力が全国の平均と比較すると低い。
- ・適切に強勢を置いて、基本的な表現を理解し応答する全国の平均と比較するとかなり低い。

【短答式および記述式/口述式】

- ・全国の平均正答率と比較すると、短答式/口述式については15.2%、記述式/口述式については12.9%
下回っている。

4. 指導改善のポイント(上記のことをふまえて、具体的に記述する)

【外国語表現の能力】

- ・スピーチの発表や1分間チャットへの取り組みなどの活動を通してプレゼンテーション能力の向上を図っていく。
その際、取り組みの過程を大切にしてコミュニケーションの能力の向上を少しずつでも図ることができるようにしていく。
- ・ペアやグループでの対話活動やアクティビティを多く取り入れていく。

【外国語理解の能力】

- ・リスニング活動の時間を多く取り入れていく。話のポイントやキーワードとなる語句をしっかりとらえることを頭において
聞くようにさせていく。
- ・初めて見る英文でも、内容を理解する力の育成を図る。

【言語や文化についての知識・理解】

- ・基礎、基本となる単語や文法事項を定期的に小テストやスペリングコンテストなどを行いながら定着を図っていく。
- ・英文を書く際に、3人称単数現在形や時制についてのミスが多いので、生徒が間違いやすい部分については
繰り返し指導をしていくことによって定着を図っていく。